

学校の活動の様子を詳しくホームページに掲載しています。<http://www.school.umic.jp/nishiuchi/>（「西内小学校」で検索）ぜひご覧ください。スマートフォンやタブレット、パソコンどちらからでもご覧いただけます。

学校だより No. 8

上田市立西内小学校



# われら西内小学校



令和2年12月23日

## 音楽を楽しみました 西内小音楽祭



お祭りのイメージとはどんなものでしょう。何人かの児童に聞いてみました。「たくさんの人が集まる」「いろんな人が集まる」「みんなが笑顔」「にぎやか」「楽しい」そんな言葉が返ってきました。11月28日は西内小学校音楽祭でした。コロナ禍の中、対策を練り開催した音楽祭となりました。

全校児童によるオープニング曲「ありがとうの花」のさわやかな歌声で音楽祭が始まりました。

1・2年生は南の島のハメハメハになって曲を届けてくれました。歌詞をよく覚え、かわいらしい歌声での発表でした。きらきら星はリズムがよく合っていて、ハンドベルと合奏の両方で美しいメロディを奏で、黒雲を退散させましたね。

3・4年生はいろいろな楽器を紹介して、楽器の音の重なりを楽しませてくれました。素直な、いきいきとした歌声は、聴く人の心をあたたく、また元気にしてくれました。合奏も軽快なリズムが心地よく、盛り上げるところを意識して表現しました。

5・6年生は高音・低音のハーモニーが美しく、伴奏も児童の力で、手作りの合唱を聴かせてくれました。合奏は指揮なしで、音を聴き合いながら合わせてしまうのはさすがです。日頃金管で培う力を十分に発揮しました。

金管バンドの迫力ある演奏は音楽祭を盛り上げました。下級生の演奏を上級生が盛り上げる場面も見られ、3～6年生で取り組む今年度の金管バンドのよさを示してくれました。

「歌よありがとう」の全校合唱で、音楽祭を振り返りながら、しっとりとした雰囲気音楽祭を終えました。西内小学校の子どもたちを中心に、音楽で多くの人が集うすてきな音楽祭になりました。保護者、地域の皆様、多くの皆様のご参観ありがとうございました。

# 音楽祭へつづく道 音楽祭特別時間割

## 3・4年生「ジップパディードゥダー」



西内小音楽祭に向けて、11月20日から特別時間割が始まりました。音楽の時間が増え、発表に向けて準備をします。

初日の1時間目は3・4年生の練習でした。3・4年生の合奏曲は「ジップパディードゥダー」です。軽快なリズムの曲で、テンポをそろえたり、打楽器のリズムから始める部分を練習したり、曲の感じを表せるように課題をもって練習しました。

「ジップパディードゥダー」は実写とアニメーションからなるディズニー映画「南部の唄 (SONG OF THE SOUTH)」の挿入歌で、TV番組のテーマ曲に使われていて、JR 舞浜駅の発車メロディになった曲です。ディズニーランドのスプラッシュマウンテンでも流れてもいて、耳にしたことのある方も多いかもしれません。3・4年生が選んだお気に入りの曲です。

音楽祭には軽快で楽しい演奏が聴かれました。

## 1・2年生「南の島のハメハメハ大王」

11月24日、音楽会特別時間割2日目です。4時間目は体育館ステージで1・2年生の練習がありました。

1・2年生は南の島の「ハメハメハ」になります。おぼえやすいがややこしく、全員ハメハメハです。でも、風が吹いても遅刻しませんし、雨が降っても休みません。元気にステージ練習をがんばっていました。

背景には南の島や船があり、1・2年生はハメハメハとして台詞を言ったり、歌ったりしました。当日は楽しい歌が聴かれました。



## 5・6年生「ひろい世界へ」

音楽祭特別時間割3日目の11月25日5時間目、体育館には5・6年生のやさしい、きれいな歌声が響きました。

伴奏も児童が務める合唱は「ひろい世界へ」です。指揮の先生をしっかりと見て、よい合唱をつくり上げようと励む5・6年生の姿がありました。

5・6年生の合唱曲「ひろい世界へ」は、「ぼくらの前にはドアがある」の歌いだして始まる小学校定番の卒業ソングです。まだ卒業ではありませんが、6年生にとって最後の音楽祭ということで一つの区切りとしてこの曲を歌います。二部合唱「ひろい世界へ」、期待が高まりました。



## 音楽集会「歌よありがとう」

音楽祭特別時間割では、授業の時間に加えて、朝の西内の時間に音楽集会で全校練習をしていました。11月26日の音楽集会では、音楽祭のフィナーレを飾る曲「歌よありがとう」の練習をしました。

「歌はぼくたちの 心の中に～」の歌い出しで始まる曲です。子どもたちは音楽祭の終わりに自分の心の中にどんな感情が残っているか、イメージしながら練習していたように思います。

文字通り「歌よありがとう」と思える音楽祭になりました。



## 音楽祭前日「金管朝練習」「全校音楽」

音楽祭前日の11月27日、朝の西内の時間には、体育館で練習に励む金管バンドのみなさんの姿がありました。ドラムのリズムに合わせた迫力のある金管楽器の音が響いていました。基礎の音出し練習から音楽祭で発表する曲の演奏と練習が続きました。

4時間目は全校音楽として、1～6年の全児童が体育館に集まりました。「ありがとうの花」「ビリーブ」「歌よありがとう」の全校合唱曲を中心に練習をしました。曲紹介などの呼びかけも入れ、本番をより意識した練習になりました。

子どもたちに、思う存分音楽を表現してほしいと願った音楽祭前日でした（巻頭記事へつづく）。



## これで完成かもしれない 「サナ悠々自適の間」

とうとう完成みんなで拍手の「サナ悠々自適の間」でしたが、よろこびもつかの間、その夜の強風で杭棒が倒れ、横板、扉も外れて壊れてしまいました。翌朝の校庭には無残な自適の間の姿がありました。このときのチームヤギの子どもたちの気持ちはどんなだったのか、後日聞いてみたのですが、「あきらめるしかないかも…」とあきらめかけた子と、「次の総合の時間に直そう」と希望をもっていった子が半々という具合でした。

11月26日の総合的な学習の時間では、自適の間を修理しました。直そうと希望を抱きながら、また、あきらめかけていた子たちも、とりあえずはと作業に取り組みました。杭はより強く打ち込みましたので、押してみると前よりも頑丈そうです。横板はより長い釘を使って打ちつけました。こちらもより強く固定された様子があります。

修理が終わってサナに入ってもらおうと、出してしまう様子はありません。前回は完成だ！とここで拍手がわきました。が、今回は「大丈夫かな。心配」「強い風に耐えられるかな」と不安げなチームヤギの子どもたちでした。ですが、杭はより深く打ち込みましたし、より長い釘を使って固定しました。「サナ悠々自適の間」は壊れる前よりも強く、頑丈なものになりました。



一連の作業で思い返すのが、昨年度の台風19号です。台風により学区内は大きな打撃を受けました。土砂が出たり道路が陥没したり、今も工事が続く場所もあります。台風の打撃に地区のみなさんはあきらめることなく復興に力を注ぎました。自然の力で壊れたら、また少し強くしてもとへ戻す、そんな営みを人間は昔から続けてきたのかもしれませんが。チームヤギの子どもたちは自分たちのフィールドでそんな経験をできたように思います。



そんなことを確かめ合うと、あきらめかけた子、希望をもっていた子、それぞれに自分たちの活動の意義を感じてか、満足そうな顔が見られました。総合的な学習の時間では、予期しないできごとがおこり、それに対応していくこ

とで活動は姿を変えていきます。また、予期せぬ事態に直面した自分や友達に出会い、どのように対応していくか、新たな自分、新たな友達の発見があるかもしれません。

サナ悠々自適の間が壊れたことで、また一つ学びが増えた子どもたちであるように思います。

## 連学年で学習 道徳・体育・図工など

西内小学校は1年，2・3年，4・5年，6年の4学級で，朝や帰りの会，給食などの学校生活は主に学級を単位に活動しています。授業は1・2年，3・4年，5・6年の連学年で行うことがあります。以前人権同和教育の授業の様子を紹介したことがありますが，これも5・6年生合同の連学年，道徳の授業でした。

12月1日の4時間目は，3・4年生が校庭で体育「サッカー」を行いました。学年混合のチームに別れ，ボールを追いかけてました。ハーフタイムに白チームは話し合っ「ジグザグ作戦」を立てて後半に臨みました。ジグザグのポジションで攻める様子がありました。

5時間目の1・2年生は図工「でこぼこ はっけん！」をやりました。身の回りの凹凸を探して粘土を押しつけ型を取り，いろいろな形を採集しました。手で形作るのとは違った趣があり，めずらしい模様に興奮しながらいろいろな形を集めていました。

学校では生活の場面や教科に応じて集団を柔軟に編制し，学びやすい環境づくり，多様な関係づくりをめざしています。



## 4時間目は全校で図工でした 粘土と釘と糸鋸など

時間割の入れ替えがあり，12月2日の4時間目は全校が図工の授業になりました。図工は連学年で取り組んでいます。1・2年，3・4年，5・6年がそれぞれ図工の授業でした。

1・2年生は教室で、前述の「でこぼこ はっけん！」でした。活動の発展が見られ、型押しした粘土から生き物を作るなど表現につないでいる子や、教室内外に型押しする模様を新たに求めて出かけていく子どもたちがいました。

3・4年生は学習室1で「くぎうち とんとん」でした。工作キットの釘打ち模型や、角材や板からテーブルやいすを作っていました。テーブルやいすは総合で作る秘密基地に用いるとのこと。教科と総合がつながっています。また、総合で釘打ちに慣れてきた子は、逆に図工でその技術をいかしていました。



5・6年生は図工室と理科室で「オリジナルテープカッター」を作りました。テープカッターの飾り部分を糸鋸を使って切り抜きました。曲線部を切るのが難しいようで、ゆっくり丁寧に糸鋸を操作していました。活動しながら、曲線で切ることができる糸鋸のよさを感じ取っている様子でした。

それぞれの連学年ごとに粘土、釘、糸鋸、板といった材料や道具を用いながら、図工の活動に楽しく、熱心に取り組みました。

## 手づくり遠足の計画 「かけゆ温泉へ行こう！」

新型コロナによる臨時休業により、全校児童による春のなかよし遠足は中止となりました。残念な思いの子どもたちにせめてクイズを楽しんでもらいたいと、遠足にかかわるクイズをつくって、ホームページでクイズ大会をやったものです。

そんな中、1・2年生は生活科の学習として、自分たちで遠足に行こうと計画しています。春の遠足ならぬ初冬の遠足といったところでしょうか。コロナに負けずたくましいです。

目的地は地元の「鹿教湯温泉、クアハウスかけゆ」です。12月3日の4時間目は、目的地について知っていることを出し合いました。「クアハウスかけゆには知っている人が働いている」「クアハウスにはプールと温泉の両方があるんだよ」「行ってみたい!」「鹿教湯温泉にはおまんじゅうが売っ

ている」「たっぷりあんこが入っていて、外側には絵が描いてあるんだよ」「食べてみたい！」など知っていることを出し合いながら、遠足への期待を膨らめているようでした。

鹿教湯温泉やクアハウスについてお家の人や近所の人に聞きながら、より詳しく調べてくることになりました。情報を得ながら、具体的な計画を立てていこうとしています。手づくり遠足が実現したらすてきですね。



## 集大成と入門 卒業制作と園児陶芸



陶芸家の宮上誠治先生を講師に、卒業制作と園児陶芸を行いました。卒業制作は、本校6年生が小学校卒業の記念に陶芸作品を制作し、園児陶芸は、お隣の西内保育園年長児のみなさんの陶芸体験でした。

卒業制作は陶芸活動の集大成として取り組みました。小学校入学前から陶芸に親しんできて、12月4日の作品のテーマは「自由」、自分が作りたい物に思う存分チャレンジしました。サイズが大きい作品が多く、宮上先生に適宜アドバイスをもらいながら、1日かけて作品完成をめざしました。都合のつく保護者のみなさんにもご参加いただき、児童の隣でいっしょに陶芸に挑戦してもらいました。

園児陶芸は年長児さん5名の陶芸体験でした。宮上先生から板状の粘土をもらい、端を折り曲げて皿にし、皿の中に棒で絵や模様を描きました。保育園で使っている油粘土と感触が違っていることや、焼くと固くなるのお話を聞いて興味深いようで、園児さんたちは熱心に取り組んでいました。

ともに1月の窯焚きで今日の作品を焼きます。どんな作品に仕上がるか楽しみです。6年生には卒業の思い出の作品になるでしょう。園児さんには、この機会に焼き物に興味をもってくれたらうれしいです。

## 遠足の計画大詰め 「かけゆ温泉へ行こう！」

12月7日2時間目の1・2年生活科では、さらに遠足の計画を立てていきました。自分たちで計画を立てて行く遠足です。

週末の家庭学習で、鹿教湯温泉について「行ってみたい場所、やってみたいこと」を調べてきました。それを出し合いながら、遠足の計画について考えていきました。

子どもたちからは、おまんじゅうを売っているお店、お菓子屋さん、コンビニエンスストア、飲食店、神社、足湯など、鹿教湯温泉の名物、名所がたくさん出されました。情報を出し合いながら、その場所との自分のかかわりや、やってみたいこともたくさん語られました。「おまんじゅうを買って食べてみたい」「お参りをしたい」「あそこのラーメンおいしいよ」などなど。



先生からはクアハウスの写真やバスの時刻表が提示され、子どもたちは期待を高めたり、具体的にどう行って帰ってくるか考えたりしていました。

情報を出し合いながら、遠足への期待がより高まったようです。次回目的地をどこにするか考えていくことになりました。

## サナの世話について振り返る チームヤギ

悠々自適の間（放牧の柵）からサナが抜け出し、校庭隅の草を食んでいたということがありました。この出来事を「サナはお腹を空かせているんじゃないかな。たくさん草を食べたくて外へ出たんじゃないかな」ととらえる子がいて、冬のえさをどう確保するかが問題になりそうになったとき、「その前に、サナの世話をしっかりする方が先だと思う」と発言する子がいました。自分たちのサナへのかかわりを見直した方がいいという意見に、少々緊張が生じました。

詳しく聞いてみると、サナの世話をしている人としていない人の差が大きいということです。みんなで責任をもって取り組むことが必要ではないかということでした。よい機会です。問題提起をもとにサナの世話のあり方についてチームで振り返ってみました。

サナの世話をされていてうれしかったこととして、「なついてくれて、行くと寄ってきてくれる」「サナといろんなことをやって自分もサナも成長できた」「柵から脱走しても校庭にいてくれて、学校を自分の家と思ってくれてるのかな」「小屋に入れるとき自分から入ってくれる」「いろいろな食べ物を好き嫌いなく食べてくれる」「エサを食べている様子がかわいい」そんなことが挙げられました。それぞれの振り返りに「そうだね」「そんなことあったね」と共感しながら聞き合っていました。

世話をしていたいへんだったことも話し合いました。「水汲みが重くて運ぶ距離もあってたいへん」「フンの掃除がたいへん」「サナが動いてくれないときがあつて困った」「雨の日の掃除は特に

たいへん」「サナの機嫌が悪くて、つのストレート（子どもたちはサナの頭突きをこう呼んでいます）された」たいへんだったことも共感しながら聞きました。

これからのことですが、当番表を作ってチーム全員がしっかりサナの世話に取り組みたいということになりました。今までは自主的にやる世話で、その形で世話が成立してきたことも素晴らしいのですが、これからは分担の世話になります。当番表を作る際は、「その日は僕がやるよ」「都合がよくなくてできない日は連絡し合おう」というように、互いに補い合っていていこうという気持ちがうかがえました。サナの世話の振り返り、共感のし合いがそうさせたのかもしれない。

日常のサナの世話は自主活動から当番制へ移行しました。どちらの取り組み方もよいところがありますが、子どもたちが考えながら新たな形をつくっていったことがよかったです。サナとの生活づくりに問題をもち、解決しようとしながら取り組んでいます。



## めあてに向かって取り組む なわとび運動

12月10日の4時間目の体育館には、なわとび運動に励む1・2年生の姿がありました。

めいめいが「チャレンジ なわとびカード」を持ち、できるようになった技（跳び方）や跳べた回数をカードに記録しながら取り組みました。ちなみに20級は「両足跳び1回」「片足跳び1回」のどちらかができるとクリアです。10級は難易度が増し、「両足跳び50回」「後ろ両足跳び25回」「駆け足跳び50回」「後ろ駆け足跳び16回」「二拍子跳び20回」うち3種目ができるとクリア、7級以上は「交差跳び」「あや跳び」「二重跳び」といった技が入ってきます。

自分のめあての技や跳ぶ回数の達成に向けて進んで練習し、「できるようになったよ、見てて」と先生や友達と見合いながら、声をかけ合いながらがんばっていました。膝を軽く曲げて跳んでいるところ、大きくジャンプしすぎないところなど、跳び方が上手です。

カードを使いながら、めあてをもって励むなわとび運動です。



## 歯を大切にしよう 歯科指導



前週の高学年歯科指導に続き、12月11日は1年生から3年生の低学年歯科指導がありました。講師に鹿教湯病院歯科の先生方をお招きし実施した歯科指導です。

歯ブラシのブラッシング指導に加え、歯や体を大切にするためのいろいろな知恵も紹介してもらいました。かぜをひきにくくなる呼吸法は鼻呼吸（水の呼吸ではないそうです）、歯磨きをしないで寝るとネバネバの歯垢がつく、フッ素で歯をコーティングすると虫歯になりにくくなるといった内容です。

子どもたちからは、歯を大切にしたいと思った、こまめに歯磨きをしたい、細かく歯ブラシを動かすようにしたい、今日の朝は歯みがきを忘れちゃったからこれからはちゃんとやりたい、というように指導の内容を自分の生活にいかしたいとの声が聞かれました。

ありがとうございました、のお礼の挨拶に応じて、講師の先生からは、「全集中で聞いてくれてありがとうございます」と評価の言葉をいただきました。自分の生活習慣を見直す、よいものにしていこうとする意識を高める機会となりました。

## 低学年を支える、高学年に学ぶ 金管バンド休日練習

現在大ヒット中のアニメ映画で、ある登場人物の母親のセリフにこんなものがあります。「・・・弱き人を助けることは強く生まれた者の責務です。責任をもって果たさなければならない使命なのです」

上のセリフの言葉を低学年や高学年に置き換えると、金管バンドではまさしく助け、励ますことに責任をもって果たそうとする姿がたくさん見られます。

12月12日の休日練習でも、楽譜を指さしながら演奏の補助をする、その指示を受け止めて練習する。低学年を囲むように両隣で音を聴かせながら演奏する、その音を聴きながら練習する。そんな子どもたちの姿が見られました。

先日陶芸教室の引率で来校した保育園の園長先生から、「音楽祭の金管バンドに感動しました。高学年が低学年を一生懸命助け、盛り上げようとしていましたね」こんな言葉をもらいました。今年度から3～6年生で取り組む、低学年も入った金管バンドの子どもたちは、バンドに新たなよさを生み出しています。



## サナの冬のエサ 大好物発見選手権！！

モルモットを飼っていました。2匹のモルモットに、ふだんはモルモット・フードをあげていたのですが、野菜もやり始めたところ、ニンジンが皮が好きだということがわかりました。ニンジンが皮をむく音がするだけで、「キュー、キュー」と鳴いてほしがるように became.

そんな話をチームヤギの子どもたちにしたところ、自然と「サナは何が好きなんだろう」との話題になりました。冬になるまでは、クローバーなど校庭の草を盛んに食べていましたが、秋が深くなって校庭の草がなくなってきたからは、子どもたちは家からキャベツやレタスなどを持ってきてあげていて、一番の好物は何なんだろうという疑問です。

そうしたことから、サナが好きだろうと思われる野菜や果物を予想し、「サナ大好物発見選手権！！」を開催することになりました。エントリーの野菜や果物は、「エントリーNo. 1 レタス」、「エントリーNo. 2 キャベツ」の大本命から始まって、ダイコンの葉、ほうれん草、ニンジン、リンゴ、ミカン（の皮）、白菜、バナナ（の皮）、水菜、カブの葉、カボチャ（の皮）の12の野菜や果物です。（の皮）は中身と皮両方のエントリーです。



総合の時間に選手権を開催しました。サナの食べ具合から好きさ加減を一人10点満点で採点し、チームヤギメンバーの合計点が最も高かった野菜・果物がサナの大好物と認定されます。

エントリーNo. 1のレタスからサナに食べてもらい、食べる勢い、熱心さなどから主観で採点していきました。結果、サナの大好物は「ダイコンの葉」と認定されました。5人合計で45点の高得点で、2人が満点の10点をつけました。ダイコンの葉に食いつくように食べるサナの姿が見られました。2位はリンゴ、3位はニンジンとキャベツが同点という結果でした。野菜や果物の葉や皮が好きで、リンゴやミカンといった果物の果実もよく食べることがわかりました。



「3月のサナの誕生日には好きな野菜と果物を盛りつけて、ケーキにしてお祝いしよう」とのアイデアを話す子もいました。季節が冬へ移り変わり、サナの世話のしかたも変化してきています。サナへの理解を深め、冬の世話を充実させていく契機にしたいです。ご家庭に上記の野菜や果物が余っているようでしたら、学校にご提供いただけるとありがたいです。

## 人権について考える 清水先生の授業

県同和教育推進協議会の清水稔先生には、職員研修や授業研究で講師にお招きし、本校の教育にご支援をいただいています。12月15日には清水先生による5・6年生への人権同和教育の授業がありました。

授業は「ブタとペンギンの見方」「宇宙人に人間を紹介するとしたら」のワークショップから始まりました。ワークショップを通して、まずは受け入れてもらえるとうれしい、自分の当たり前は当たり前ではないかもしれないということを体感的に学びました。

続いてのワークショップではいじめをなくすこと、ふせぐことを学び、授業は進んでコロナ禍における人権問題も扱われました。子どもたちから、「差別やいじめについて学び、差別する人される人、両方が傷つくと思った」と感想の声が聞かれました。

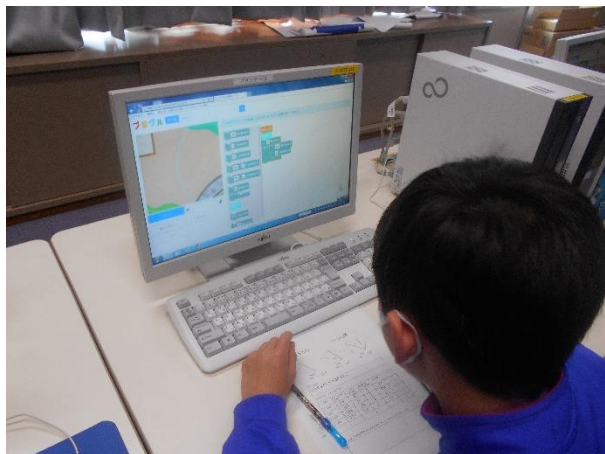
人権教育は教育活動の根幹ともいわれます。問題を深く考える機会になりました。



## プログラミング学習 円と正多角形

行政情報処理センターより講師をお招きし、全学年でプログラミング学習を実施しました。6年生は、一人ひとりパソコンを操作しながら、算数「円と正多角形」をプログラミングを通して学びました。

子どもたちはプログラミング教材のソフト「プロゲル」でPC画面のロボットの指示をプログラムしながら動かし、正三角形や正五角形、正六角形、または円を作図していきました。ロボットに出す指示として、動く距離は辺の長さになり、回転する角度は図形の内角になります。正多角形の内角や辺など今まで学習してきたことをいかしながら、プログラムをしていた子どもたちの姿がありました。



まとめとして講師の先生からは円と正多角形についての話があり、子どもたちからは、「思い通りにロボットが動いたときにはうれしかった」とプログラミングが正しくできたときのよろこびについての感想が発表されました。

プログラミングを通して算数の学習を深めることができました。

## 久しぶりのダジャレ 言葉の感覚を養います

久しぶりにダジャレの投稿がありましたので紹介します。ペンネーム：ゆっこさんからです。

入れ歯が入れば食べられる  
ロードショーをダウンロードしよー  
食堂にショック、どう？  
ウラジオストックに裏地をストック  
このカレンダー、枯れんだー  
ネコが根っこに寝転んだ  
竹の子が高えの困る  
モヒカンでも悲観しない  
神社に応援、ジンジャーエール  
このもやし、燃やしい

みなさんはどのダジャレが好きですか？「ウラジオストックに裏地をストック」は、洋服作りの秘密結社の人が言うダジャレのようでおもしろいですね。どうしてわざわざ外国にストックするのか気になります。

ダジャレは言葉遊びの一つで、言葉の感覚が養われるといわれます。国語の教科書でも扱われていますね。みなさんもダジャレにチャレンジしてみてください。

## 元気に雪で遊んでいます そり滑り



ここ数日うっすらと雪が積もり、そり滑りに興じる子どもたちの姿が見られます。朝や休み時間等、自由な時間にそりを抱えて校庭に出ていく子どもたちがいます。

校庭周辺から、そり滑りができる場所を見つけて遊んでいます。12月17日の朝は、農具室前の坂が人気のそりポイントでした。一人乗り、二人乗り、膝のり、二連など、思い思いの乗り方で坂を滑り降りては、そりを抱えて上って行って楽しんでいました。

雪で遊ぶことは自然に親しむことで、雪は子どもたちに新たな遊びを提供してくれています。寒い中ですが、元気に自然に親しむ子どもたちの姿があります。

## 校舎内外から探す 防災・減災の工夫



以前ハガキを出そうと郵便ポストを探したことがあり、そうしたところ、通勤路の脇に見つかって、無事に出せたということがありました。その出来事で不思議に思ったのは、通勤路を何か月も通っていて、ポストがあることに気づかなかったということです。同じ風景でも、視点をもって見ることで見えるものがあると感じました。

4年生は社会科の学習で、災害を防ぐ工夫や努力について学習しています。12月18日は校舎内外の防災、減災の工夫を見つけて歩きました。そのように視点をもったとき見えてくるものがありました。図書館の本棚や廊下のロッカーなど、ありとあらゆるものに転倒防止の留め具、ワイヤーがつけてありました。前回は耐震の補強部分を見つけたそうです。続けて子どもたちは、食料などの備蓄庫を見に行こうと外へ出かけていきました。

るものに転倒防止の留め具、ワイヤーがつけてありました。前回は耐震の補強部分を見つけたそうです。続けて子どもたちは、食料などの備蓄庫を見に行こうと外へ出かけていきました。

「災害を防ぐ、減らす工夫にはどんなものがあるだろう」と問いをもって見たことで、防災・減災の工夫への見方が深まりました。進んで調べることができました。

## もののなまえのお店屋さん 魚や、やおや、花や、パンや

職員室に、宣伝にやってきてくれた子どもたちがいました。「1年生の教室でお店やさんを開いています。ぜひ来てください」なんと大型10円玉10枚のお金を配っての宣伝です。これは行ってみたくになります。さっそく1年生教室のお店やさんに行ってみました。

教室には、魚屋、八百屋、花屋、パン屋の四つのお店が開かれていました。魚屋さんでは、ウニが売っていて、中身10円、殻20円で売っていました。カニやサバもありました。八百屋さんではイチゴやサツマイモが売っていて、ジャガイモ2個入りは20円のところタイムセールで半額で買えました。花屋さんではきれいなバラやコスモス、パン屋さんにはメロンパンやサンドウィッチなどたくさんの種類のパンが売っていました。

紙にきれいに描かれた商品は、お店やさんごとに魚介類、野菜や果物、花、パンに仲間分けすることができ、その仲間にもいろいろな種類がありました。物にはまとまりの名前があり、そのまとまりの名前には一つひとつ種類の名前があります。そんな物の名前への理解を体験的に深めた1年生の子どもたちでした。



## 🌸🍎🥬🍞 1月の予定

| 月          | 火                      | 水              | 木           | 金                    | 土  | 日  |
|------------|------------------------|----------------|-------------|----------------------|----|----|
|            |                        |                |             | 1<br>元日 年始休業         | 2  | 3  |
| 4          | 5                      | 6              | 7<br>3学期始業式 | 8<br>校内書初展<br>(～15日) | 9  | 10 |
| 11<br>成人の日 | 12<br>3学期初めの<br>児童個別面談 | 13<br>CRT 学力検査 | 14          | 15<br>スキー教室          | 16 | 17 |
| 18         | 19<br>火入れ式             | 20             | 21          | 22<br>窯焚き            | 23 | 24 |
| 25<br>計画休業 | 26                     | 27<br>6年命の学習   | 28          | 29<br>PTA総役員会        | 30 | 31 |

【登校日数15日（累計156日）】

- ・ 1 5 日（金）は全校スキー教室です。冬の自然，冬のスポーツに親しむ機会となります。準備へのご協力をお願いいたします。
- ・ 2 2 日（金）から窯焚きです。分担表をお配りしました。よろしくお願いします。
- ・ 寒さが厳しくなる時期です。体調管理にご留意ください。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため，予定が変更になることがあります。その際は学年だよりや安心メールでお知らせします。

学校では不祥事根絶に向け，服務規律の遵守に努めていくように，非違行為防止研修を実施しています。

☆県教育委員会では，「体罰に関わる相談窓口」を設けています。下記まで，封書，電話，ファックス等で相談ができますので，ご活用ください。

宛 先 長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛  
住 所 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2  
電 話 026 - 235 - 7426（直通） F A X 026 - 235 - 7494

## 「われら西内小学校」クイズ

かぜをひきにくくなる呼吸法は何でしょう。



このおたよりをよく  
読んで答えてね。

歯科指導で  
教えてもらったよ。



- ① えら呼吸      ② 水の呼吸      ③ 鼻呼吸

鹿教湯病院歯科の先生方に教えてもらいました。鼻毛がウイルスから体を守ってくれるとのことですよ。意識していくといいですね。（答え③）